日本共産党杉並区議会議員
週刊 こんにちは
山田耕平（こうへい）です
2023.4.6 №476

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺２－２－１１
TEL　090-9973-0941
ホームページ
http://yamadakohei.jp
右ＱＲコードを
ご活用下さい

補助１３２号線の中止求める６１４０筆の陳情署名の採択訴える

住民と共に　西荻の道路計画見直しを！

補助１３２号線（西荻の道路拡幅計画）は、岸本区政のもとで見直しも含めた方針を定めるべく、住民との対話と熟議が尽くされています。

一方、杉並区議会の多くの議員は、前田中区長のもとで住民合意も無く強行された道路計画を推進する構えです。

６千人超の署名を不採択に採択を訴えた党区議団

昨年の第２回定例会では、補助１３２号線の道路計画中止を求める陳情が審査されました。近隣住民は６１４０名の署名を提出し、住民が全く納得しておらず「なぜ、道路を拡げる必要があるのか？」等の切実な声が次々と紹介されました。

一方、委員会質疑では、公明党・北委員が「前提として、事業開始までの期間という条件で住まわれているはず」「長く住んでいるから（中略）簡単に進まない」と発言。まるで、道路計画用地に暮らす住民に責任があるかのように発言しました。

多くの都市計画道路は、戦災復興としてＳ22年に都市計画決定されていますが、計画決定は大日本帝国憲法下の旧法に基づいており、住民意見の聴取等の手続きは一切実施していません。

用地買収が始まり、一部空き地となった道路計画予定地。

住民が計画決定に対して意見を上げることも出来ず、勝手に決められたのが都市計画道路です。

さらに、当時と異なり、現在は完成した街並みに、行政が住民合意も無く、道路整備を事業化し、大規模な立ち退きを迫ることに道理はありません。

各会派賛否では、党杉並区議団は、莫大な税金投入の問題も指摘し（全長で２５０億円以上、２０２１年度は右表）、６千筆を超える住民の思いを受け止め計画を中止するよう求め、採択を主張しました。一方、他会派は「道路拡幅は必要」として不採択を主張。賛成少数で不採択となりました（下記）。

６１４０名の陳情を無視した杉並区議会議員は厳しく責任を問われます。

立無のひわき議員、連携の奥山議員、松尾議員は採択を主張。

会派（※）	自杉	公明	自民	共産	連携	立無	無維	革新	正理
賛否	×	×	×	○	×	×	×	○	×

（※）自杉/自由民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、連携/無所属・少数会派連携、立無/立憲民主党・無所属クラブ、無維/自民・無所属・維新クラブ

杉並区土地開発公社保有地一覧表（令和４年３月18日）

※杉並区土地開発公社は杉並区の公園や道路、その他の公共用地を先行取得するために設立されている。

区分		用地名（所在）	取得年月日	面積（㎡）	契約金額（千円）
道路用地	1	都市計画道路 補助132号線事業用地（西荻北五丁目270番3）	令和3年4月3日	213.23	588,693（内訳）土地売買代金 171,544　移転補償費等 417,149
	2	都市計画道路 補助132号線事業用地（西荻北三丁目109番18）	令和3年9月23日	29.19	62,526（内訳）土地売買代金 21,951　移転補償費等 40,575
	3	都市計画道路 補助132号線事業用地（西荻北五丁目123番12）	令和3年11月10日	40.90	56,110（内訳）土地売買代金 29,753　移転補償費等 26,357
	4	都市計画道路 補助132号線事業用地（西荻北二丁目117番6、7）	令和3年11月15日	31.12	45,915（内訳）土地売買代金 23,350　移転補償費等 22,565
	5	都市計画道路 補助132号線事業用地（善福寺一丁目196番4）	令和4年2月28日	52.04	130,945（内訳）土地売買代金 38,869　移転補償費等 92,076

都市計画道路補助１３２号線事業用地
土地売買代金　２億８５４６万円余
移転補償費等　５億９８７２万円余
合計　８億８４１８万円余
※2021 年度で道路用地に８億８千万円以上も。

日本共産党杉並区議会議員

杉並区議会議員選挙　告示４月１６日　投票２３日

山田耕平

事務所びらきのご案内

日時　４月９日（日）１５:００～

場所　西荻北３－４２－１３

元中華金龍・元ピザ屋店舗（右地図）

※前回の事務所と同じ場所です

日頃のご支援ありがとうございます。
４月２３日投票で行われる区議会議員選挙が間近に迫りました。
私は、区議会唯一の社会福祉士として、くらし・福祉の向上と区民が選んだ区政を前進させるために奮闘してまいりました。
この度、活動の拠点となる事務所びらきを行います。
ご多用とは存じますが、ぜひ、お出かけ下さいますよう、ご案内申し上げます。

【連絡先】杉並区議会議員　山田耕平　TEL 090-9973-0941

今議員任期４年間の代表・一般質問 ほとんど質問をしなかった議員も…

2019～2022 年度の今議員任期は、間もなく終了します。この間、議員は区政一般について質問する権利が与えられますが、その権利をほとんど行使しない議員もいます。議員の責任が問われます。

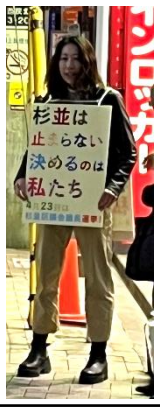
回数	議員名（会派）
０回	木梨もりよし（共生）
１回	井口かづ子（自杉）、 川野たかあき（立無）
２回	吉田あい（自杉）、川原口宏之（公明）、 小川宗次郎（自民）、 國崎たかし（自民）

※４年間の議員任期を務めた議員のみ。

今週の一コマ

岸本区長が一人街宣

先日、西荻窪駅で宣伝をしていると岸本区長が登場し、一人街宣を開始。投票率向上を呼びかけ始めました。確かに地方議会選挙は低投票率が深刻です。岸本区長、すごい行動力です。



投票率向上を呼び掛ける区長。

くらしに関わる「条例提案権」積極行使は日本共産党杉並区議団だけ

補聴器購入費助成が実現へ

議員の条例提案権は地方自治法（１１２条２項）に定められており、議員定数の１２分の１以上（杉並区議会では４名）の賛成で提案可能です。

党区議団は今議員任期（2019～2022 年度）においても、積極的に条例提案権を行使しました。

2021 年度第 3 回定例会には、23 区各区で実施が進んでいる「補聴器購入費助成条例」を杉並区議会に提案しました。

条例は、65 歳以上の非課税世帯に属する区民が、医師の診断に基づき必要な補聴器を購入した際、３万円を上限に区が助成金を支給するものです。

残念ながら当時、条例に賛成したのは、共産・少数会派連携だけとなり廃案となりましたが、その後、岸本区政のもとで予算化された際には、他の会派も賛同し、補聴器購入費助成が実現しました。

■当時の条例提案に対する各会派の態度

会派	自民	公明	共産	連携	立民	平和	無維
賛否	×	×	○	○	×	×	×

自民・公明・立民・平和は条例提案時の態度を変更し、購入費助成にも賛同した。